

現代日本メディア概論（月曜日 1 時限）

担当教員 福大 機構

特撮戦隊ヒーロー番組のカラー設定がもつ魅力に関する一考察

〇〇学部〇〇学科

学籍番号 NNNN

名前 XXXXX

提出日 20YY 年 MM 月 DD 日

1. はじめに

特撮戦隊ヒーロー番組（以下、「戦隊もの」）¹⁾の最大の特徴は、様々なカラーを配した戦士たちが協力しながら、地球の平和を脅かす悪に立ち向かう「勧善懲悪」を軸にした構成となっている点にある。「勧善懲悪」を売りにする高齢世代を主対象とした時代劇番組と同様に、「戦隊もの」は子どもを対象に安定した視聴率が期待されるテレビコンテンツといえる。しかし、一見するとマンネリ化し視聴者に飽きられそうな構成であることも否めない²⁾。ではなぜ「戦隊もの」は長寿コンテンツとして現在まで継続しているのだろうか。本レポートでは、この問題意識にもとづいて、「戦隊もの」のカラー設定が視聴者に与える効果に着目し、視聴者インタビューの手法を用いてその実態を明らかにしていく。

2. カラー別のキャラクター設定

本項では、テレビマガジン（1993）の分析を参考に、「戦隊もの」で用いられるキャラクターカラーの代表的な7色（①赤、②青、③黄、④桃、⑤緑、⑥黒、⑦白等）を取り上げ、特徴を分析する。

はじめに①赤戦士はリーダー格の熱血漢で、数あるカラーの戦士の中でも特別な地位を占めている。全ての「戦隊もの」において赤戦士は例外なく理想主義の主人公としてメンバーの中核を担う位置付けにある。一方でサブリーダー格の役割を担っているのが②青戦士である。赤戦士との対比で位置付けられることが多く、常に冷静沈着で現実的な判断を下すことに長けているが故に、赤戦士と衝突し問題を起こすことも多い。次に③黄戦士はパワー系のキャラクター設定、もしくはお調子者のムードメーカーであることが多い。性別を問わない点も特徴的である。かたや女性専用色であるのが④桃戦士であり、華やかさと優しさを兼ね備えたキャラクターとなる。そして⑤緑戦士は赤戦士と青戦士の仲を取り持つ仲介役であることが多く、少年や最年少者がその任を担う確率が高い。それ故に、メンバーの中で最も繊細さを有する設定となることも多い。さらには、赤戦士のライバルで孤高の求道者として⑥黒戦士の存在がある。言葉数少なくミステリアスな一面を有するが、その実力は総じて高い設定である。最後に⑦白戦士³⁾をはじめとした特別色の戦士に関しては、中盤からの追加戦士の設定であることが多く、他のメンバーとは異なる特殊能力を持ち、ストーリーの進展に影響をもたらすキーパーソンである。

3. カラー別キャラクターに対する視聴者の共感と期待

上記のカラー別キャラクター設定を念頭に置き、本項では下記の通り実施した視聴者へのアンケート調査の結果を確認していく。

調査方法：インタビュー調査

実施期間：YYYY年MM月DD日～YYYY年MM月DD日

対象：FF幼稚園の全園児150名とその保護者53名、計203名

質問項目：①最も好きなカラーの戦士は誰ですか、②その理由はなんですか、③今後の「戦隊もの」への要望を教えてください。

園児の回答結果は図1の通りとなった。約4割の園児は主人公である赤戦士が好きと回答し、次に青戦士、黒戦士という順番で人気があった。その理由には、「強いから」「必殺技がかっこいい」等が挙げられた。主な要望としては、「強くてかっこいい合体技を増やして欲しい」「パワーアップ武器がたくさんあるといい」といった意見が見られた。

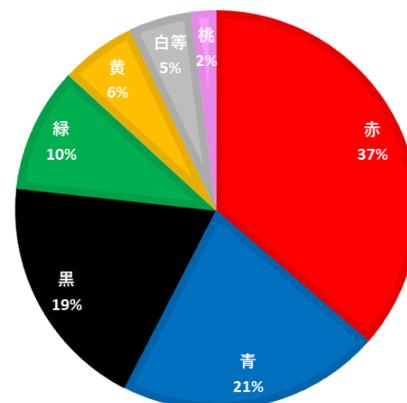


図1 園児の各カラー人気分布

一方で保護者の回答は図2の通りで、白戦士をはじめとした特別色の戦士への人気が高く、それ以外のカラーの戦士はいずれも横並びの人気であった。加えて、その他の回答も多く、中でも敵キャラクターを挙げる声が多数見られた。特別色の戦士が人気の理由には、「ヒーローを助けるヒーローという位置付けが唯一無二」「一匹狼にもかかわらず視野が広く全体を見ながら最適解を導き出せるところが尊敬できる」といった内容が挙げられた。あわせて、敵キャラクターは「負け続けてもくじけず地球征服という目標達成に向けて頑張っている」「最後の最後でいつも詰めが甘いところが憎めない」といった点に共感するという理由で人気が高かった。今後の要望として、「若手俳優以外のキャスティングも検討してほしい」「特別色の戦士や敵キャラクターのスピノフが見たい」等が挙げられた。

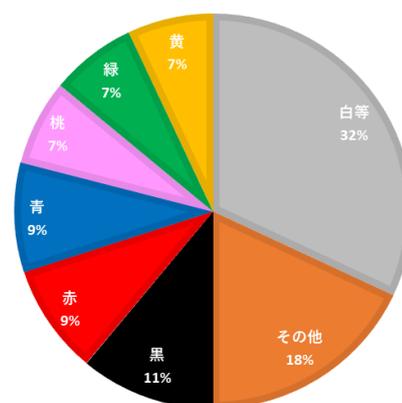


図2 保護者の各カラー人気分布

これらのアンケート結果からは、「戦隊もの」に登場するキャラクターには、多くの視聴者から共感され応援される要素が詰まっていることが明らかとなった。子ども世代は主人公である赤戦士を中心に、かっこよさというわかりやすい指標が影響を及ぼしている。一方で、保護者世代はカラー別のキャラクター設定と自身の信条とをそれぞれ結びつけて回答する傾向にあったことから、人気分散したと考えられる。

4. おわりに

本レポートでは、「戦隊もの」が長い間テレビコンテンツとして不動の地位を得ている理由に、カラー別のキャラクター設定が影響していることを明らかにした。上述した緻密な設定が、視聴者の共感と呼び、継続した人気につながっているといえる。特にその共感性の高さは保護者世代に顕著であり、子ども以上に人気を下支えする対象として存在感を示している。

昨今では悪役の魅力向上も一役買っているが、その点の考察は残された課題である。カラーイメージを少しずつ現代的に変化させている点も重要な要素であろう。例えば赤戦士は、これまではみなを引っ張っていくリーダーシップを発揮する特徴を有していたが、最新作では他カラーメンバーに支えられながら成長していくイメージが際立っている。最近ではリーダーシップだけでなくフォロワーシップの要素も必要であり⁴⁾、それらの観点からもカラーイメージとキャラクター設定の変容について分析を深めていく必要がある。これらの残された課題に着手するためには、「戦隊もの」のカラー別キャラクター設定の背景にある社会的課題とその変容⁵⁾について継続して検討していかなくてはならない。

<注>

- 1) 特撮戦隊ヒーロー番組とは、西映が制作しテレビタ日系列局で放送される番組を指す。対象範囲は1975年に放送が開始された「〇〇レンジャー」から本稿執筆時点で放送中の「□□セイジャー」までの40作である。
【参考 HP】東映、東映エージェンシー「スーパー戦隊百科」スーパーせんたいネット
(<https://www.super-sentai.net/sentai/>) (閲覧日：YYYY年MM月DD日)
- 2) 時代劇の代表格「水戸赤門」はYYYY年にYY年の歴史に幕を引いた。
- 3) 初期メンバーのカラーに含まれることもあるが、その場合の多くは女性戦士である。
- 4) 林（2010）は宇宙飛行士に必要な8つの資質能力のうちのひとつに「リーダーシップ・フォロワーシップ」を併記している。現代社会において掲げられる資質能力の中で、両者は不可分な関係にあるといえる。
- 5) 具体的には、若松（2009）によるジェンダー的観点から「戦隊もの」を分析する視点や、有吉（2003）による「正義の味方」像の視点などが挙げられる。

<参考文献>

- 有吉未充（2003）『『正義の味方』のゆくへ—TVのアニメと特撮番組の中のヒーロー、ヒロイン像（特集『正義の味方』は?）』子ども文化研究所『子どもの文化』35巻11号，pp.22-32.
- 林公代（2010）『宇宙飛行士の育て方』日本経済新聞社.
- テレビマガジン編集（1993）『超世紀全戦隊大全集—テレビマガジン特別編集 戦隊シリーズ20周年記念』講談社.
- 若松孝司（2009）「ジェンダーフリーの時代の特撮ヒーロー／ヒロイン像」愛知淑徳大学文化創造学部『愛知淑徳大学論集 文化創造学部・文化創造研究科篇』第9号，pp.45-58.